

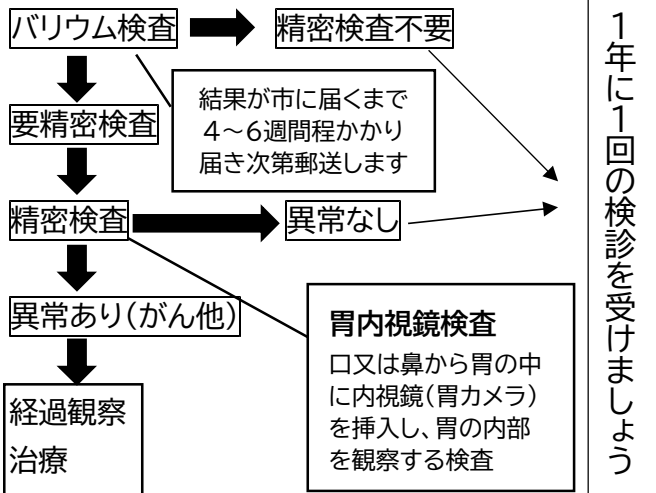
胃がん検診のご案内

別紙案内

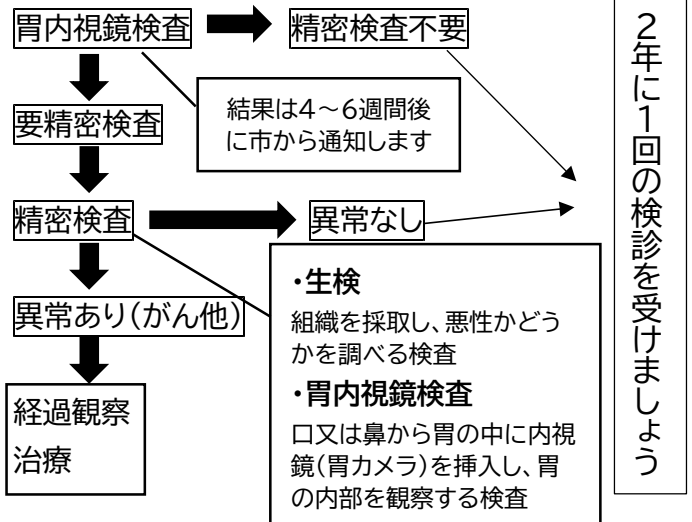
(同一年度内に両方受診することはできません)

検査内容	バリウム検査			胃内視鏡検査
対象	40 歳以上(前年度胃内視鏡検査を受けた方も受診できますが胃内視鏡検査と毎年交互に受診することは不利益の増加につながるため推奨されていません。)			50歳以上 75 歳未満(受診日年齢) 前年度受診した方は受診できません。 バリウム検査を受けた方は受けられません。
料金	500円 生活保護受給者のみ無料			3,000 円 生活保護受給者のみ無料
方式	集団検診			個別検診
場所	市内検診会場(下記)			医療法人 SHIODA 塩田病院
実施期間	検診日	検診会場	検診車	令和7年6月3日(火)～ 12月24日(水) ※事前の申請が必要です 受診券を発行しますので 市民課窓口にお越しください 5/26(月)から開始
	4月21日(月)	荒川テニスコート	1台	
	23日(水)	総野集会所	1台	
	25日(金)	興津区民会館	1台	
	26日(土)	芸術文化交流センター	2台	
	28日(月)	芸術文化交流センター	2台	
	30日(水)	芸術文化交流センター	1台	
間隔	1年に1回			2年に1回
その他	完全予約制 問診票裏面を必ずお読みください。			持ち物:健康保険証または健康保険証が紐付いているマイナンバーカード

◆バリウム検査の流れ



◆内視鏡検査の流れ



・前日の夜:食事は夜10時までにお済ませください。
 ・当日の朝～検査:お茶・コーヒー、あめ・ガム等を含む飲食はできません。
 ※水のみ2時間前まで200ml程度の飲水は可能です。
 ※心臓病・高血圧の方は薬を検査2時間前までに必ず内服してください。抗てんかん薬、向精神薬を内服されている方も同様です。糖尿病の方は、受診前は薬の服用やインスリンの注射はしないでください。(低血糖になる恐れがあります。)それ以外の薬は検査後にお飲み下さい。

・医療機関で予約してください。
 ・検査前日と当日の飲食や内服等について注意事項がありますので、受診する医療機関の指示に従ってください。
胃内視鏡検査は2年に1回の間隔でいいの？
 ・「有効性評価に基づく胃がん検診ガイドライン」において受診間隔を2～3年に延長した場合でも、死亡率減少効果が認められるとされています。
 →2年に1回胃内視鏡検査を受けることが重要です。

【お問い合わせ】 勝浦市役所 市民課 健康管理係 電話:0470-73-6614(8:30～17:15)

胃がんについて

胃がんで死亡する人は年々減少していますが、まだまだ日本人に多いがんです。胃がんの原因はまだはっきり分かっていませんが、遺伝や食生活、最近ではピロリ菌が胃壁になんらかの影響を及ぼすのではないかと考えられ、研究が進められています。

がんは生活習慣病です。今一度ご自身の生活習慣を見直してみませんか。塩分の多いものは避け、バランスのよい食事を心掛けましょう。また、飲酒や喫煙についても注意が必要です。

どの部位のがんが多いか？
がん罹患数の順位(2020年)

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	
総数	大 腸	肺	胃	乳 房	前 立 腺	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸 3 位、直腸 6 位
男性	前 立 腺	大 腸	肺	胃	肝 臓	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸 4 位、直腸 5 位
女性	乳 房	大 腸	肺	胃	子 宮	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸 2 位、直腸 7 位

がん死亡数の順位(2023年)

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	
男女計	肺	大 腸	膵 臓	胃	肝 臓	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸4位、直腸7位
男性	肺	大 腸	胃	膵 臓	肝 臓	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸 4 位、直腸 7 位
女性	大 腸	肺	膵 臓	乳 房	胃	大腸を結腸と直腸に分けた場合、結腸 3 位、直腸 10 位

資料：がん情報サービス「がん統計」

胃がんとピロリ菌の関係

- ・ピロリ菌は、胃がん発症リスクに関係する高危険因子です。
- ・ピロリ菌に感染した全ての人が胃がんになるわけではありません。
- ・ピロリ菌は、胃潰瘍や十二指腸潰瘍の原因にもなります。

ピロリ菌を除去すれば安心？

ピロリ菌を除去しても、胃がんの発症を完全に抑えられるわけではありません。
→除菌後も定期的に検診を受けることが重要です。



がん検診とは・・・

がん検診は自覚症状がない健康な人が受診します。がん検診は有効性として死亡率減少効果はありますが、必ずがんを見つけられるわけではなく(偽陰性)、がんがなくても検診の結果が「要精密検査」となる場合(偽陽性)があります。

◆胃内視鏡検査を受けられない人

①胃全摘術後の人	⑧呼吸不全のある人
②胃の部分切除後で、経過観察中の人	⑨急性心筋梗塞や重篤な不整脈等の疾患のある人
③上部消化管の疾患で通院中の人	⑩明らかな出血傾向またはその疑いのある人
④疾患の種類にかかわらず入院中の人	⑪収縮期血圧が極めて高い人(高血圧治療中の場合、検査直前に血圧を測り、受検の可否を判断する)
⑤妊娠中の人、またはその疑いがある人	⑫内視鏡検査に関するインフォームド コンセントを得られない人
⑥抗血栓薬、抗血小板薬またはそれに類する作用のある薬を服用されている人	⑬そのほか、医師が検査困難と判断した人
⑦咽頭、鼻腔などに重篤な疾患があり内視鏡の挿入ができない人	※年度内に胃がん検診(バリウム検査)を受診した方、人間ドック費用で助成を受けた方は対象外です。